

令和2年度 第2回能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の概要

○日 時 令和2年11月26日(木) 午前10時00分～10時51分

○場 所 能代市役所 新庁舎3階 会議室9・10

○案 件

(1) 地域再生計画の検証について

- ・道の駅を核とした地域活性化プロジェクト(地方創生推進交付金事業)

資料1～3

【主な意見等と対応】

意見等	対応
アンケートの中に、道の駅の出発地・経由地・目的地の設問がある。調査の時期により出発地や目的地も変わることが想定される。観光客等の流れを把握するためには、他の時期にもアンケート調査をする必要があるのではないか。	アンケートは、道の駅ふたついいリニューアル後に1度だけ実施したものである。道の駅の窓口にお客様へのアンケートを設置しているが、利用者に対するアンケート調査については今後、検討したい。
周遊性・回遊性への取組は能代地域だけの取組か。近隣の市町村との連携等を行っているか。	この事業における周遊性・回遊性は能代地域に限定したものだが、県北レベルの周遊性・回遊性も考え、平成30年度には、県北地域の道の駅連携による「県北特産市 in ふたついい」を開催した。

- ・「木都能代」拠点整備事業計画(地方創生拠点整備交付金事業)

資料4～5

【主な意見等と対応】

意見等	対応
木材事業者の利用状況等はどうになっているか。	施設で使用できる機械の種類は非常に多いことから、木材事業者はほぼ毎日施設で機械を利用している。

(2) 第1期 数値目標・重要業績評価指標（K P I）の達成状況等について

資料6～7

【主な意見等と対応】

意見等	対応
第2期総合戦略に掲げる指標の評価方法が客観的になったということか。	第1期総合戦略では、3段階評価のうち「横ばい」への評価が非常に難しかったことから、第2期では評価基準を数値化することとした。第2期総合戦略では、自動的に指標が評価されることになり、その結果を、どう改善に結びつけていくかがポイントになると考えている。